

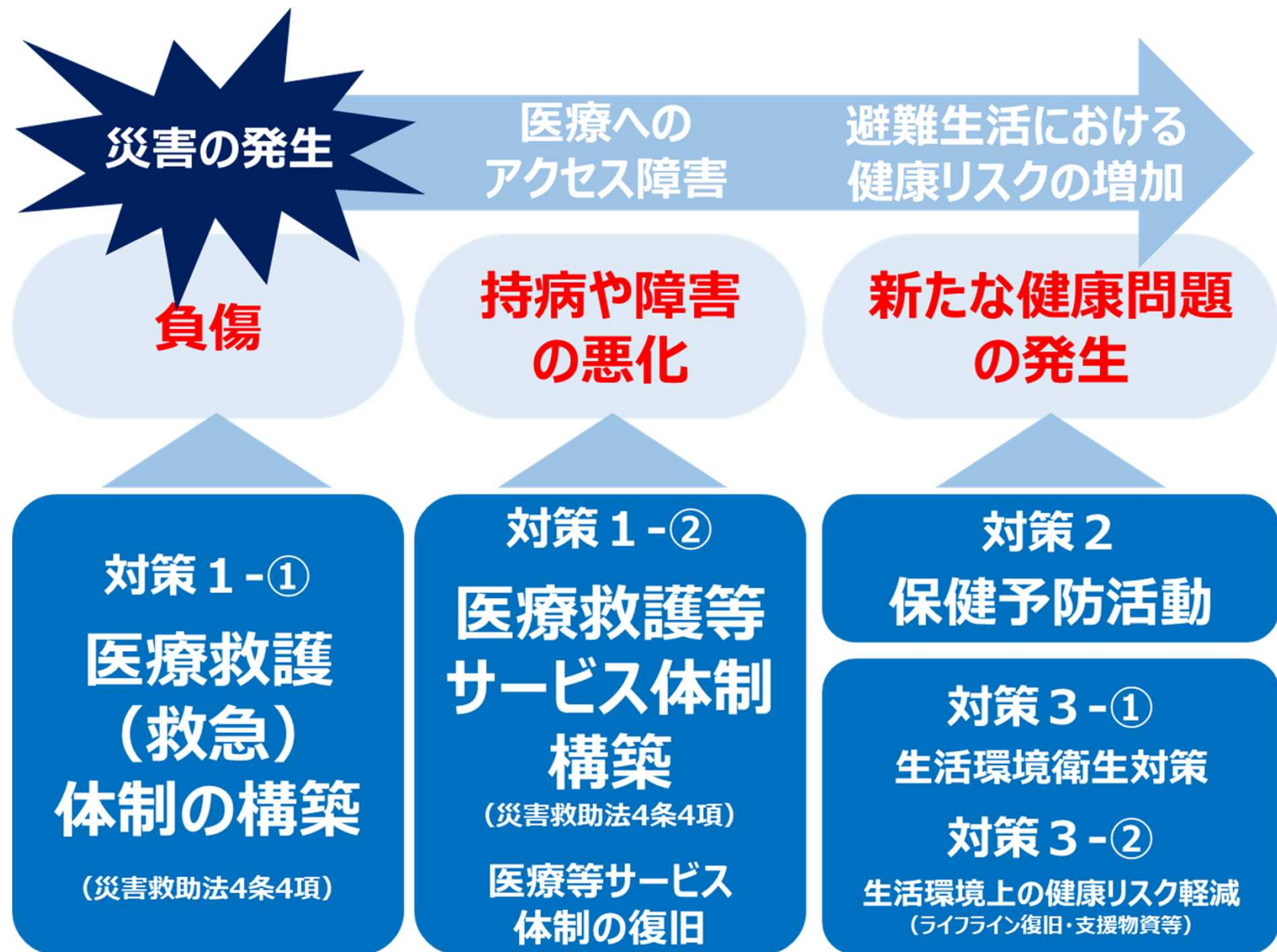
令和7年度保健師中央会議  
行政説明 資料1

# 大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の強化等について

厚生労働省大臣官房厚生科学課  
災害等危機管理対策室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

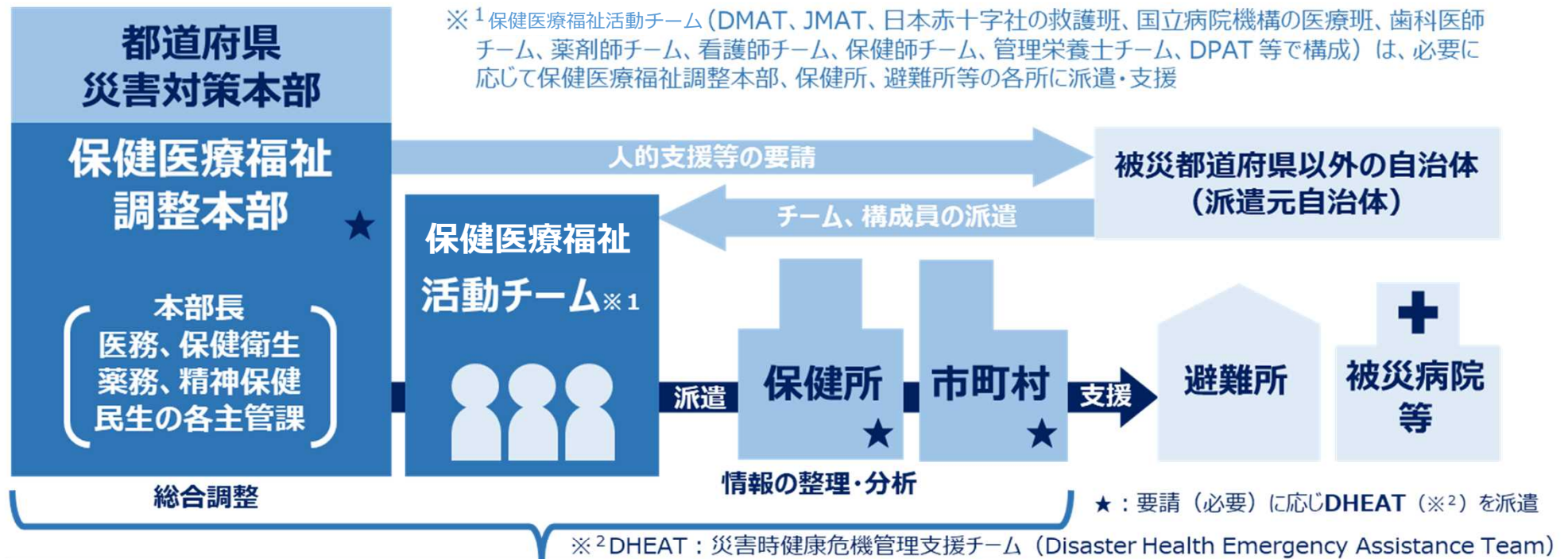
# 災害時保健医療対策の3本柱



**防ぎえた死と二次健康被害の最小化**

# 大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の強化について

- 大規模災害が発生した場合には、被災都道府県は速やかに、都道府県災害対策本部の下に、**保健医療福祉調整本部を設置**する。（既存の組織等に当該保健医療福祉調整本部の機能を持たせても差し支えない）
- 保健医療福祉調整本部は、●**保健医療福祉活動チーム<sup>(※)</sup>の派遣調整**●**保健医療福祉活動に関する情報連携**●**保健医療福祉活動に係る情報の整理及び分析等の保健医療福祉活動の総合調整**を一元的に実施し、保健医療福祉活動を総合調整する体制を整備する。



## 保健医療福祉活動に関する情報連携

- 関係者が把握した被害状況、保健医療福祉ニーズ等の情報にかかる緊密な情報連携（報告・共有）（保健医療福祉調整本部↔保健所・市町村↔保健医療活動チーム↔他の活動チーム）
- 避難所等での保健医療活動の記録・報告のための統一的な様式の提示（調整本部→チーム）
- 保健所での情報の整理・分析（とりまとめ）

地域災害医療対策会議、災害福祉支援ネットワーク本部等を活用し、情報連携を図る

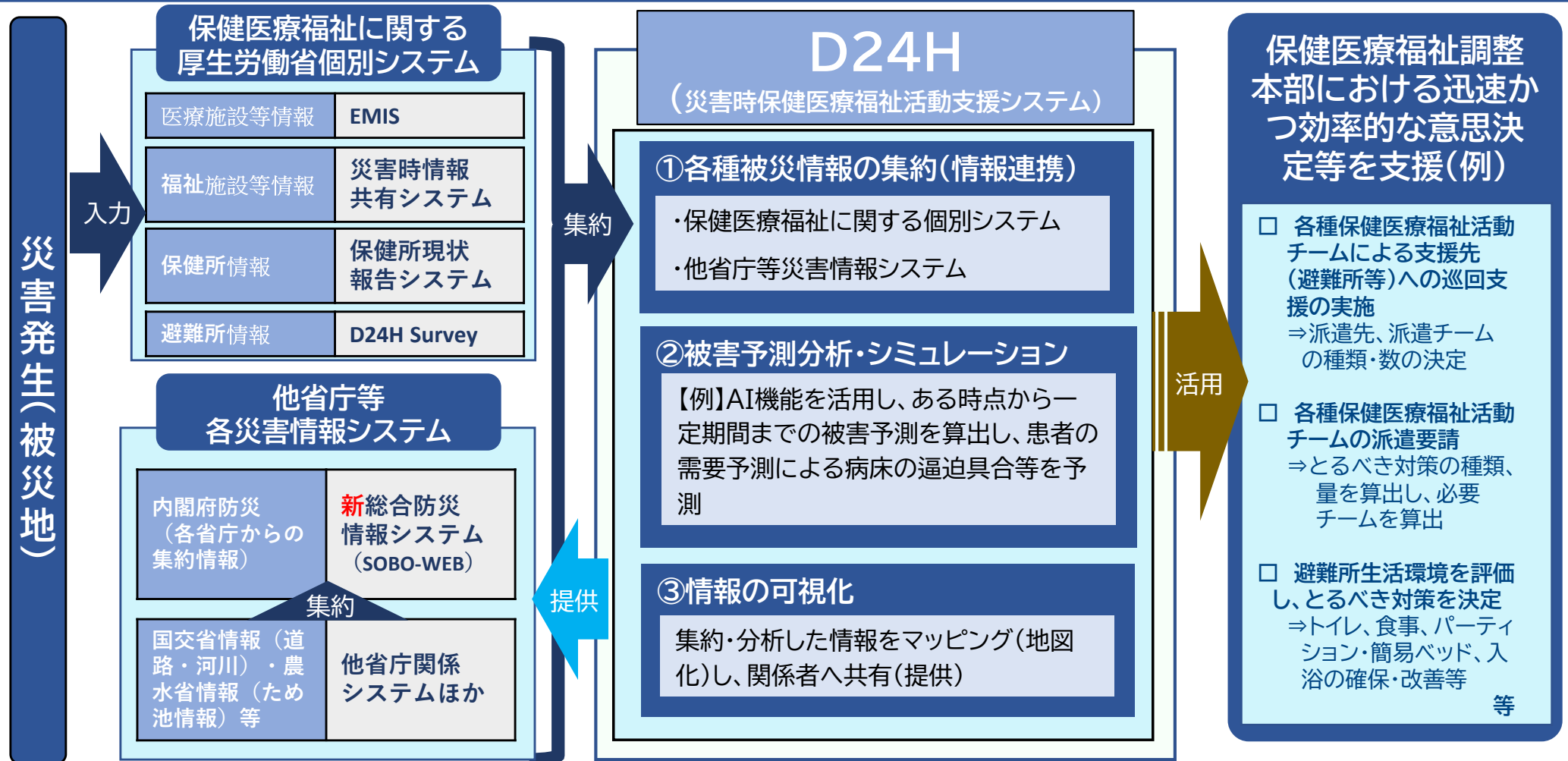
# 大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の強化 について（通知抜粋）

令和7年3月31日付 各都道府県知事あて 厚生労働省大臣官  
房厚生科学課長、医政局長、健康・生活衛生局長、感染症対策部  
長、医薬局長、社会・援護局長、障害保健福祉部長、老健局長連  
名通知

3. 保健医療福祉活動における平時からの連携・体制強化の取組について（新規）
- （1）例えば、下記のような活動は、基本的には災害救助法（昭和22年法律第118号）に基づく災害救助費の対象となるので、保健医療福祉活動チームの活動として想定される活動内容やその費用負担の考え方について防災部局等の関係部局間で平時から相談しておくこと。
- ・ 災害派遣医療チーム（DMAT）による医療の実施
  - ・ 災害派遣福祉チーム（DWAT）による相談支援等
  - ・ 避難所における保健医療福祉活動チームの活動
- （2）都道府県及び保健所は、大規模災害時に保健医療福祉調整本部において、迅速・円滑に保健医療福祉活動の総合調整を行うことができるよう、平時より保健医療福祉活動チーム等との合同訓練、研修、会議の開催等により連携体制を構築し、災害対応の共通認識の醸成を図るために取組むこと。
- （3）都道府県は、大規模災害時において、保健医療福祉調整本部及び保健所による保健医療福祉活動の総合調整等を円滑に実施するため、災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H）等のシステムにより、情報の連携、整理、分析等を実施できる体制の整備に努めること。

# 災害時保健福祉医療活動支援システム(D24H)による災害時の支援(全体図)

- 災害における保健・医療・福祉に関する厚生労働省個別システム及び新総合防災情報システム(SOBO-WEB)と情報連携し、保健・医療・福祉に関する情報と他省庁の情報(浸水域・道路啓開情報等の災害情報)を迅速・リアルタイムに集約。
  - 集約した情報を整理・分析するとともに、これらの情報を一元的に地図上で可視化可能。
- ⇒ **保健医療福祉調整本部における迅速かつ効果的な意思決定(保健医療福祉活動チームの派遣、物資支援等)を支援**
- 令和7年度当初予算案:33.5百万円(基礎的運用)、令和6年度補正予算:17.2百万円(能登半島地震での教訓を踏まえたシステム改修)



# D24Hが連携する保健医療福祉関係システム

| 分類・名称                                 | 対象施設            | 概要                                                                                                                                                                                                             | 備考 |
|---------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| <b>医療</b><br>EMIS<br>（広域災害救急医療情報システム） | 医療施設            | 災害時における医療機関の活動状況など、災害医療に関わる情報を収集・提供し被災地域での迅速かつ適切な医療・救護活動を支援するシステム。<br>※新EMIS試行運用期間中(～R7.3)                                                                                                                     |    |
| <b>介護</b><br>災害時情報共有システム              | 入所施設、居住系サービス事業所 | 災害時における介護施設・事業所の被害状況を国・自治体が迅速に把握・共有し、被災した介護施設・事業所への適切な支援につなげるシステム。                                                                                                                                             |    |
| <b>障害</b><br>災害時情報共有システム              | 障害者支援施設等・児童福祉施設 | 災害時における障害者支援施設・児童福祉施設等の被害状況等を国・地方公共団体等が迅速に把握・共有し、被災施設等への迅速かつ適切な支援（停電施設への電源車の手配等）につなげるシステム。                                                                                                                     |    |
| <b>子ども</b><br>災害時情報共有システム             |                 |                                                                                                                                                                                                                |    |
| <b>新総合防災情報システム</b><br>(SOBO-WEB)      | -               | 災害情報を地理空間情報として共有するシステム。省庁、地方自治体、指定公共機関といった災害対応機関が被災状況等を早期に把握・推計し、災害情報を俯瞰的に捉え、被害の全体像の把握を支援することを目的としている。災害対応機関が共有すべき特に重要な災害情報を定めた災害対応基本共有情報（EEI）を軸に情報を集約する。インフラ、気象情報、道路通行実績等のといった各機関が収集した災害情報を地図化してSOBO-WEB上で共有。 |    |

# 避難所等ラピッドアセスメントシート項目

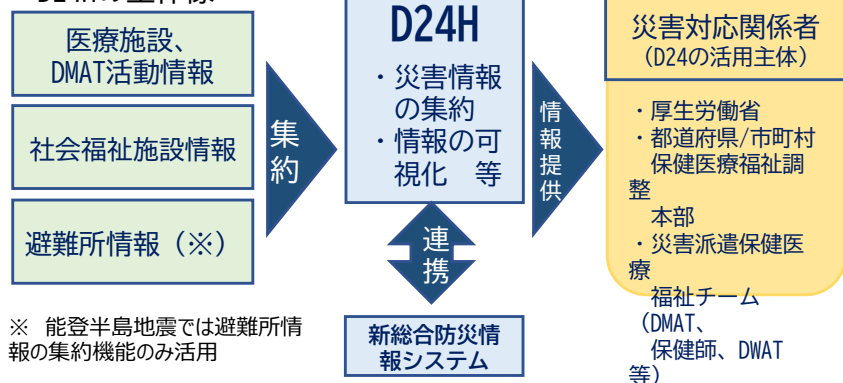
| 調査者情報等      | 避難者情報       | ライフライン/通信 | 避難所の環境     |
|-------------|-------------|-----------|------------|
| 避難所コード      | 避難者数(人) * A | 飲料水       | 過密度        |
| 調査日         | * Aのうち男性    | 食事        | 毛布等寝具      |
| 調査者氏名・所属    | * Aのうち女性    | 使用可能トイレ   | 室温管理       |
| 電話連絡先       | * 不明        | 電気        | 暖房設備       |
| 施設情報        | 食事提供人数 * B  | ガス        | 手洗い環境      |
| 施設名         | 避難所以外の避難者数  | 生活用水      | トイレ清掃      |
| 所在地         | 昼間人数        | 固定電話      | 土足禁止       |
| 電話番号(固定・携帯) | 夜間人数        | 携帯電話      | 下水         |
| FAX         | 車中泊人数       | 衛星電話      | ごみ集積場所     |
| 避難所情報       | 75歳以上       | データ通信     | 館内禁煙       |
| 避難所運営組織     | 未就学児        | 医療支援      | ペット収容所     |
| 代表者名        | 乳児          | 救護所設置     | 男女別更衣室     |
|             |             | 医療チームの巡回  | 男女別トイレ     |
|             |             |           | 男女別居住スペース  |
|             |             |           | 授乳室等母子スペース |
|             |             |           | 障害者用トイレ    |
|             |             |           | 感染予防・清掃用物品 |
|             |             |           | パーティション区切り |
|             |             |           | 段ボールベット    |

# 災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H）の活用による避難所支援

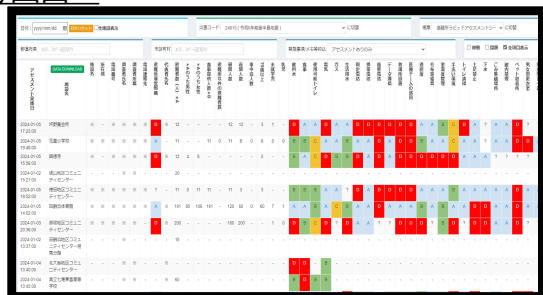
## 取組概要

- 令和6年度より厚生労働省で本格運用することとしていた「災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H）」について、令和6年1月1日の発災直後より、避難所状況の把握のため機能の一部を解放し、石川県保健医療福祉調整本部、保健所等で災害対応に活用。
- 避難所等で活動するDMATや保健師等がラピッドアセスメントシートの項目に沿って、避難所情報を入力し、関係者間でリアルタイムに共有することで、避難所の衛生環境改善の取組等に繋がった。

### <D24Hの全体像>



### <D24Survey画面>



D24H：Disaster Digital Information System for Health and well-being の通称

### <ラピッドアセスメントシート>

「ラピッドアセスメントシート（※）」により継続的に避難所環境の評価を実施。  
※スフィア基準により作成。



▲集約した情報を地図化

## D24Hを活用した意思決定(例)

- 各種保健医療福祉活動チームによる支援先(避難所等)への巡回支援。
  - ⇒派遣先、派遣するチームの決定
  - ⇒SOBO-WEBより入手した通行止め情報(国交省)と併せて、最適な巡回ルートを設定
- 各種保健医療福祉活動チームの派遣要請
  - ⇒とるべき対策の種類、量を算出し、必要チームを算出
- 避難所生活環境を評価し、とるべき対策を決定
  - ⇒トイレ、食事、パーティション・簡易ベッド、入浴の確保・改善
  - ⇒内閣府防災、他省庁(経産省、農水省等)と情報を共有